

令和 7 年 8 月 28 日

令和 7 年度第 5 回天竜区協議会地域課題

地域課題	中山間地域（特に春野町）の医療の現状について
提案委員	柳澤 光子 委員
要 旨	<p><u>春野町の医療の現状</u>をお伝えしたい。</p> <p>7月町内の<u>医院のひとつが閉院</u>されることになり、急なことでしたので驚いている。以前から、<u>後継者を探していた</u>ようだが、<u>難しかった</u>ようである。</p> <p>ここを<u>受診</u>されていた方は、<u>今他の医院を探して</u>お願いしているようである。<u>通院できる人ばかりでなく、往診が必要な方</u>もいますので<u>困っている</u>との話も聞く。</p> <p><u>医院の継続</u>については、特にこの中山間地域では<u>距離や経営面で難しい</u>かもしれないが、そこには<u>市民が住んでいる</u>ので、<u>市としても春野でこのようなことが起きて</u>いることを<u>理解</u>していただき<u>対策</u>をお願いしたい。</p> <p>これは、<u>春野町だけの問題</u>ではないと考える。<u>医療がなくなれば、介護も難しくなる</u>。</p>

令和 7 年度第 5 回天竜区協議会地域課題

地域課題	観光資源としての阿多古川について
提案委員	海老原 政彦 委員
要 旨	<p>熊地区を起点に渡ヶ島で天竜川に合流する一級河川の<u>阿多古川</u>は、<u>2008 年に「平成の名水百選」にも選ばれた清流</u>である。名水百選は昭和と平成で二百選ばれているが、<u>県西部では唯一選ばれている大変貴重な清流</u>である。</p> <p>その清流には夏を中心に川遊びやバーベキューを楽しむ人が訪れ、<u>近年ではサウナや複数の宿泊施設や飲食店などができ、阿多古川流域に以前と違った活気が少しずつ出てきている</u>。</p> <p>しかしながら、浜松市のホームページや浜松・浜名湖だいきネットを見る限り、<u>「観光資源」としての阿多古川への関心は大変低いと言わざるを得ない</u>。</p> <p>(1) <u>観光・シティプロモーション課は、阿多古川の観光資源としての価値(魅力)をどのように考えるか。また天竜観光協会は、阿多古川の魅力をどのように考えるか。</u></p> <p>(2) <u>阿多古川流域(熊・上阿多古・下阿多古地区)には縄文時代の遺跡、棚田、民俗芸能、滝、鍾乳洞など歴史や自然、そして人々の営みが息づいている。これらをまとめることで、他にはない観光資源＝地域おこしの資源となりうると考える。実際に天竜市時代の 2002 年には 3 地区の関係者が集まって『阿多古川「水辺の里」づくり』事業が行われている。観光・シティプロモーション課、中山間地域振興課からの回答をお願いします。</u></p> <p>またその一方で『阿多古川「水辺の里」づくり』事業報告書には、<u>天竜市の担当者や地元の方々から「阿多古川は非常に水位が低下しており」「阿多古川の水位が減ってきている・川の流れに勢いが無い」といったことが繰り返し述べられている。そしてその大きな原因として「森林保全に問題があり緊急の課題」「山が適切に管理されていない」ということが挙げられている。</u></p> <p>熊地区でも水量が減ったとみな言っており、水温の上昇と思われる苔がかなり増えている。そこで下記の点について質問する。</p> <p>(3) <u>阿多古川の水位が低下しているのは事実か。もしそれが事実ならば、その原因をどのように考えているか。また具体的なデータがあれば、それを示していただきたい。</u></p> <p>(4) <u>上記について浜松市として何か対策を講じているか。</u></p> <p>(5) <u>阿多古川の環境調査、例えば水生昆虫の調査などを行った事はあるか。</u></p>